

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	1
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
男女の活動の場をつくる	男女が出会えるきっかけをつくるため、地域を元気に するイベントや交流などを企画・運営する若い世代で 構成する団体の設立と活動を支援する。		若い世代で構成す る団体が実施する イベント回数	当初	5回(累計)	
				2次	16件(累計)	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考 累計
	3	6	10			

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	婚活支援事業事業補助金交付事業	やぶぐらし課	結婚者数の増加を図るため、独身男女の出会いの場やセミナーなどを実施する団体に対し、補助金を交付する。	○
	イベント等参加者数	100人	男女を引き合わせる機会を設け、かつ、継続的に必要な支援を行ったことにより結婚を成立させた団体にも奨励金を支給する。イベント実施団体に対し、イベント終了後のカップルへの働きかけを促進。	4件
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	概ねある	やや高い	妥当である
	創生本部コメント 施策の方向性に直接効果のある事業であり妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント KPIを達成したため、2次目標値を設定し、より効果を引き上げていくこと。 婚活に限らず地域を元気にするイベントや交流などを企画・運営する若い世代で構成する団体の 設立等に対する支援が必要ではないか。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	2
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
男女の出会いづくりと好感度の向上	独身男女の出会いやお見合い等のカップリングを コーディネートする人材や団体を育成し、出会いの機 会をつくるとともに、自分磨きや異性との関わり方を 学ぶセミナーなどの開催により、異性との関わりが円 滑にできる男女を増やす。		世話人等による成婚数	15組 (累計)		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	3	6	8			累計

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	縁結び奨励金交付事業	やぶぐらし課	婚活支援のため縁結び世話人制度により婚活支援を行 い、結婚・定住した場合、世話人に奨励金を交付する。	○
	世話人等の協力を得たイベント数	7回	個人の世話人だけでなく、団体等で支援できるよう縁結び 世話団体も対象とし、イベント実施団体に対し、イベント終 了後のカップルへの働きかけを促進。結婚相談員との連 携、合同研修会の開催を検討。	2組
2	婚活支援事業補助金交付事業	やぶぐらし課	結婚者数の増加を図るため、独身男女の出会いの場やセ ミナーなどを実施する団体に対し、補助金を交付する。	○
	イベント件数(婚活支援事業補助金 以外も含む)	13回	男女を引き合わせる機会を設け、かつ、継続的に必要な支 援を行ったことにより結婚を成立させた団体にも奨励金を 支給する。イベント実施団体に対し、イベント終了後のカッ プルへの働きかけを促進。	-組
3	出会い応援セミナー事業	やぶぐらし課	コミュニケーションの苦手意識の克服のため、会話術やマナー等 の向上セミナー講座後、イベントを開催する。	○
	セミナー等開催件数	3回	イベント補助だけでなく、婚活力を高めるセミナーについ ても補助対象とし、縁結び世話人を中心としたグループが男 女向けセミナーの開催を計画。市が主催するのではなく、 多様な団体が取り組めるようにしていく。	-組
4	結婚相談事業補助金	社会福祉課	成婚と地域活性化のため、結婚相談員の設置、結婚相談 所の開設等、社協への補助を行う。	○
	成婚数	0組	新規受付件数等は増加したが成婚には至らず。市内相談 員の連携強化やフィールドの拡大、各方面への情報収集 に努め、1件でも多く「お見合い」に結びつくような紹介活動 を目指す。縁結び・婚活支援事業との一体的な推進が必要。 。	0組

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

	必要性	有効性	効率性	本部評価
①基本目標の視 点から見た施策の 評価について	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に 対して事業設定が 妥当かどうか	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 幅広い婚活支援が行われており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント KPI推移は上がっているものの、目標達成には事業改善などの更なる努力を要する。 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
--------------------	--

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	3
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
子どもを持ちたい希望をかなえる	不妊、不育に悩む夫婦や子育て家族が希望する人数の子どもを持てるよう支援し、 経済的負担を軽減する。		中学生以下の子どもを持つ世帯のうち多子世帯の割合	60%		
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	57%	56%	57%			

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	特定不妊治療費助成事業	健康課	出生率向上のため、特定不妊治療に係る費用を県助成金を除く全額を対象に助成する。	○
	助成件数	30件	不妊や不妊治療について、相談しやすい体制づくりに引き続き取り組む。	57%
2	多子世帯負担軽減事業	こども育成課	子育て環境の向上に資するため、多子世帯における保育料の一部を補助する。	○
	補助対象児童数	19人	兵庫県の制度改正に合わせ対応。兵庫県が実施する補助制度ではあるが、市においても引き続き兵庫県と連携して、保育料の負担軽減を行っていく。	(57)%
3	多子世帯給食費負担軽減(参考)	学校給食センター	子育てに係る経済的負担を軽減するため、第2子以降の給食費を半額にする。	
	—	-		
4	多子世帯保育料軽減(参考)	こども育成課	子育てに係る経済的負担の軽減のため、小学校6年生までの範囲で保育料を2子目半額、3子目以降無料にする。	
	—	-		

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。				
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
創生本部コメント 子どもがほしい夫婦を支援し、保育料や給食費など子育てにかかる経済的負担を軽減する事業が設定されており妥当である。				

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しいが、初産が増えるとKPI推移が下がることに留意が必要。希望する人数の子どもを持てるよう支援を行うこと。 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。
----------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	4
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要		KPI	目標値		
妊娠から子育て期までの切れ目ない 支援を展開	妊娠期から子育て期までの様々な支援をワンストップ で切れ目なく展開するため、相談体制の充実と医療 費、保育料の負担軽減を図る。また、雨天・冬季でも 子どもが安全に遊べ、親同士のコミュニティの場とな る環境を整備する。		この地域で子育てをしてい きたい親の割合		80%	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	71%	70%	68%			

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	母子保健事業費(産後ケア事業)	健康課	安心して子育てができる支援として、産後3ヶ月未満の母子 を対象に心身のケア、乳児のケア等を実施する。	○
	宿泊型利用	46日	多様なニーズに対応するため「デイサービス型」を開始した。 産後切れ目なく支援が受けられる体制が定着することで、育 児不安を解消し、産後ケアを受けられる場所・人材の安定し た確保とサービスの充実に取り組む。	68%
2	母子保健事業費	健康課	安心して前向きに育児に取り組むことができるように、妊娠 期から専門家や地域とつながりを持つよう支援する。	○
	妊娠のフォロー実施率	93%	種々のサービスの周知を実施。支援プランに沿い、ケースに 合った支援を展開する。引き続き母親同士の交流を促す。母 子保健の各事業により妊娠期から3歳までの支援体制を整 備する。	(68)%
3	子育てヘルパー事業	こども育成課	育児の不安感、負担感の解消、技術の継承のため、ヘル パーによる家事援助、育児支援を行う。	△
	ヘルパー派遣利用者数	5人	満3歳に達する年度までにある子どもを育児する家庭に拡充 した。健康課の母子事業関係課と連携し、利用ニーズの把 握に努め、必要な策を講じる。母子事業の機会を捉えてチ ラシの配布を行う。	(68)%
4	感染症予防事業費(定期・予防接種 等)	健康課	感染症のり患を防ぐため、定期予防接種の啓発と勧奨を実 施する。	○
	小児の定期予防接種率	91%	小学6年生のDT(ジフ・破傷風)は4月の案内後、年度内に2回 再勧奨を行った。小学4年の日本脳炎2期は、年度内の接種 を勧める内容の案内を送付。接種率の低い高校3年生の日 本脳炎2期は4月の案内後、年度内に再勧奨を行う。	(68)%

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点 から見た施策の評 価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に 対して事業設定が 妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 妊娠期からの切れ目ない支援がされており妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対 応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗ではKPI達成には厳しい。既存事業の見直しに加え、新たな事業を構築するなどの見 直しを要する。 各事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。 利用数の多少よりも、それぞれの子育て環境に応じて必要な事業が提供されているのか。事業間 のつながりも考慮し取り組むこと。
--------------------	---

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号 3 - 4

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る		◇出生数 770人/5年間			
施策	概要			KPI	目標値	
妊娠から子育て期までの切れ目ない 支援を展開	妊娠期から子育て期までの様々な支援をワンストップで切れ目なく展開するため、相談体制の充実と医療費、保育料の負担軽減を図る。また、雨天・冬季でも子どもが安全に遊べ、親同士のコミュニティの場となる環境を整備する。			この地域で子育てをして いきたい親の割合		80%
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考
	71%	70%	68%			

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
5	乳幼児等医療費助成事業費(乳幼児)	保険医療課	子育て世帯等が安心して医療サービスが受けられるように、小学校3年生までの医療費自己負担分を全額助成する。	○
	乳幼児医療費助成給付件数	24,022 件	医療関係者に対し医療費削減への対策を検討する。市民から通常事業と認識されている感も否めず、「本当にありがたい」と浸透しているかが疑問であり、移住してきた子育てママ等による広報活動を検討する。	(68) %
6	こども医療費助成事業	保険医療課	小4から中3までの子が安心して医療サービスを受けられるよう、医療費の自己負担額を全額助成する。	○
	助成件数	11,700 件	医療関係者に対し医療費削減への対策を検討する。移住定住施策の広報において、養父市の具体的な取組みを、ママの働き方応援隊(お仕事倶楽部機能)などによる拡散が必要と考える。	(68) %
7	母子家庭等医療費助成事業	保険医療課	母子父子家庭、遺児が安心して医療サービスを受けられるよう、医療費の自己負担分の一部を助成する。	○
	助成件数	1,131 件	子育て世帯への支援策であるため、引き続き実施する。移住定住施策の広報において、養父市の具体的な取組みを、ママの働き方応援隊(お仕事倶楽部機能)などによる拡散が必要と考える。	(68) %
8	母子保健事業(未熟児養育医療)	保険医療課	専門医療が必要な未熟児とその親が安心して医療サービスが受けられるよう医療費の自己負担分を全額助成する。	○
	助成件数	8 件	引き続き、健康課と連携しきめ細やかなサービスの提供に取り組む。移住定住施策の広報において、養父市の具体的な取組みを、ママの働き方応援隊(お仕事倶楽部機能)などによる拡散が必要と考える。	(68) %

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	創生本部コメント			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント
----------------	----------

まち・ひと・しごと・ふるさと養父市創生総合戦略 施策評価シート

1. 施策概要「PLAN(計画)」

番号	3	-	5
----	---	---	---

基本目標③	“子育てしたいまち”に ⇒安心して出産・子育てができる環境と地域全体で将来の 担い手を創る					◇出生数 770人/5年間	
施策		概要			KPI	目標値	
企業との連携による女性の仕事と育児の両立支援		企業との連携による健全な共働き社会を実現するため、ワーク・ライフ・バランスへの取組や育児休暇、出産・育児等で離職した女性の再雇用への取組を促進する。			ワーク・ライフ・バランス宣言事業者数	20社 (累計)	
KPI推移	H27	H28	H29	H30	H31	備考	
	15	15	19			累計	

2. 実施状況「DO(実施)」(枝番○はH30新規事業)

枝番	事業名	担当課	概要(目的と内容)	有効性 (事業継続の必要性)
	主な活動指標	H29活動実績	改善状況・今後の方向性 新規事業はH30の進捗状況(6月末現在)	H29成果実績
1	児童福祉一般事務費(WLB宣言推進事業)	こども育成課	働きやすい労働環境、子育てしやすい職場環境の整備に向け、企業が労働環境の改善に取り組むことを宣言する。	○
	WLB宣言推進事業者	4社	但馬銀行と連携して、市独自の補助制度の創出に努め、企業との面談等を実施。企業の改善により、子育てがしやすい地域との認知を得るため目標値を増やすのか、また、この事業を推進するのは「ひょうご仕事と生活センター」であり、市の努力とは関係ないところで、この宣言企業数が増えるため市のKPIとして適切なのか検討する必要がある。	4社
2				
3				
4				

3. 施策の分析「CHECK(評価)」と「検証」

①基本目標の視点から見た施策の評価について	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 基本目標に直接効果のある施策である。			
②施策の方向性に対して事業設定が妥当かどうか	必要性	有効性	効率性	本部評価
	大いにある	大いにある	高い	妥当である
	創生本部コメント 施策に効果のある事業で妥当である。			

4. 今後の方向性「ACTION(改善)」

次年度において対応すべき事項	創生本部コメント 現在の進捗でいけばKPI達成の見込み。引き続き各事業の円滑な進捗を図ること。事業について、今後の方向性に沿って必要な改善を行う。実態調査により質のチェックを行い、その上で必要な支援を行うこと。
----------------	--